

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

**事業名** 新 教育事務所によるICT活用モデルの構築・推進事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会事務局 学校支援課 教科教育第一係 電話番号：058-272-1111 (内 3695)

E-mail：[cl7782@pref.gifu.lg.jp](mailto:cl7782@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 5,227千円 (前年度予算額： 0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,227	0	0	0	0	0	0	0	5,227
決定額	3,532	0	0	0	0	0	0	0	3,532

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・国のGIGAスクール構想の早期実現により、令和2年度中に各小・中学校において1人1台端末及びネットワーク環境が整備され、1人1台端末を活かした個別最適化された授業の実現や、デジタル教科書等の活用による多様な学びの保障が求められている。
- ・ICTを効果的に活用したモデルとなる各教科等の授業を構築するとともに、ICT活用に関する知見やノウハウの共有を図り、全市町村におけるICT教育の推進を図ることが重要である。

### (2) 事業内容

- ・各地区教育事務所において、様々な学習支援ツールやデジタル教科書等のコンテンツの有効な活用法を示し、各学校の1人1台端末を生かした授業実践を支援する。
- ・教育事務所の指導主事と学校の教員が共同してデジタル教材の作成や学習効果の高いソフト等についての実践研究を進め、その成果を発信し、普及を図る。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品	5,227	学習支援ツール、学習者用デジタル教科書
合計	5,227	

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進

目標12 ICTを活用した学習活動の充実

### (2) 国・他県の状況

- ・「学校教育の情報化推進に関する法律（令和元年6月）」において、学校の教員による情報通信技術の特性を生かした適切な指導が求められている。
- ・GIGAスクール構想の早期実現により、令和2年度末を目途に、小・中学校における1人1台端末及びネットワーク環境の整備が進められている。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 全ての教員が毎日タブレット等のICTを活用した授業を実施する。  
 また、全ての教員が授業展開に応じて、タブレット等の機能を活かした授業を実施する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
児童がタブレット等のICT機器を活用した授業（小学校）	毎日活用 16.1% (R2)	( R )	( R )	毎日活用 16.1% (R2)	100% (R5)	%
生徒がタブレット等のICT機器を使用した授業（中学校）	毎日活用 9.6% (R2)	( R )	( R )	毎日活用 9.6% (R2)	100% (R5)	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	G I G Aスクール構想の早期実現により、1人1台端末が整備されたことを踏まえ、端末を有効に活用した多様な指導が必要なため。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	市町村や学校のICT環境に即した取組が進められるように各地区教育事務所と連携している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 教員がICT活用をした指導力には、差があり、実践を通して全ての教員がICT活用力を高めていくことが必要である。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 1人1台タブレットの家庭での活用も含めて、より有効な活用方法を広めるとともに、不登校児童生徒や外国人児童生徒等、多様な児童生徒の学力や学習機会を保障する必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】